

メリジャパンの活動内容をご紹介

MERI Japan NEWS

— メリジャパンニュース —

VOL.
19

2024年
10月25日発行

講演会のお知らせ

背骨の骨折の実態

～健康長寿を実現しましょう!～

健康寿命を左右する

背骨の痛みや骨折の原因・治療法についてと、
外科医が手術を学ぶために最近行われてきている

「カダバーサージカルトレーニング」について、

専門医が詳しくご説明します。

日本整形外科学会の調査では、

治療を必要とするほどの腰痛を経験したことがある方が
40～60代で50～64% いらっしゃいます。

20代でも34%以上 の方が腰痛を経験しています。

とくに 男性では勤労年齢、女性では70代以上 の方が
多く腰痛を経験していることがわかりました。

背骨・腰の骨を健やかに保ち、

これから自分もまわりの人も元気に生きていくために、
ぜひこの講座で一緒に学びましょう。

2024年11月30日(土)

10:00～11:30／開場9:40(予定)

受講料
無料

対象

背骨の痛みをお持ちの方、またはその家族
健康・医療情報にご興味のある方

人数

80名前後
(申込みが人数に達し次第締め切ります)



講師

愛知医科大学整形外科学講座准教授
若尾 典充先生

会場

NHK放送センタービル6階大会議室

〒461-0005
名古屋市東区東桜1丁目13-3 NHK文化センター名古屋教室
TEL 052-952-7330 (NHKカルチャー入会不要)

電話受付

NHK文化センター 名古屋教室

TEL 052-952-7330 受付時間／平日9:00～18:00 土曜9:30～17:00 日曜9:30～15:00

申込みQR



講演会のお知らせ

背骨・腰の骨を健やかに保ち、これから自分もまわりの人も元気に生きていくために、
ぜひこの講座で一緒に学びましょう。

| interview | 医の未来を切り拓く－CSTの現場から－

CALを通じて患者さんを笑顔にする外科医を育てていきたい（後編）

千葉大学大学院医学研究院環境生命医学准教授 鈴木崇根先生

活動報告 CST

みなさま、いつもご支援ありがとうございます。

CST(サーチカルトレーニング)の開催状況についてご報告いたします。



MERI Japan

interview

医の未来を切り拓く

— CST(サージカルトレーニング)の現場から —

千葉大学大学院医学研究院・医学部では
医学生や医師がご遺体でのサージカルトレーニング(CST)を行うための
クリニック・アナトミー・ラボ(以下、CAL)を設立しました。
VOL.18では、まだまだ載せきれなかった鈴木先生との対談(後編)をお届けします。

千葉大学大学院医学研究院
環境生命医学准教授
鈴木 崇根

1999年千葉大学医学部卒業。2001年国立千葉大学整形外科学に入局後、
2008年千葉大学大学院医学研究院環境生命医学助教、2018年4月千葉大学
大学院医学研究院環境生命医学講師などを経て、2024年より千葉大学
大学院医学研究院環境生命医学准教授を務める。



**CALを活用して
若手の医師を
育てていくうえで大切なのは
マインドを変えること**

— CALを活用し、若手の医師を育てていくうえでの難しさがあればお聞かせください。

鈴木:「場数をこなすことで手術が上手くなる」と考えている医師のマインドを変えることですね。確かに、手術は数をこなせばこなすほど、ラーニングカーブのイメージで手技が向上し、知見が深まります。しかし、このマインドで臨んでしまうと、注意深く見なくてはならない箇所を見ずに手術を進めてしまうようになります。たとえば、大事な神経を見ずに手技を進めてしまうと、医療事故を招いてしまう可能性があるのです。

CALで扱うご遺体を「物」として捉え、自分のスキルを上げるための「場数」として学ぼうとするのは望ましい姿ではありません。そうではなく、普段目にするのが難しい解剖の位置関係を見て「この貴重なご遺体を余すところなく活用してすべてを吸収しよう」というマインドを持つ



て参加してほしいと願っています。

**卒前・卒後教育に
最適な環境を提供するための
サポートをしていく**

— また、先生は医学生の解剖実習も担当されていると伺っています。若手の医学生に解剖実習での経験を活かしてもらうために取り組んでいることがあればお教えください。

鈴木:学生が解剖学に対して高いモチベーションで臨んでくれるように最大限

サポートしています。解剖学の講義や実習は、難解でとつつきにくい部分があります。さらには講義で学んだ内容と解剖実習で扱う内容が連動していないことがあります。実習が身についていないような感覚を感じる生徒がいるのです。

そこで授業では、解剖の講義と解剖実習



が連動するように工夫しています。また、クイズやディスカッションなどある種のゲーム的な要素を取り入れ、医学生が楽しみながら主体的に取り組める形式で展開しています。こうすることで、学生たちは最大限の集中力とモチベーションで講義や実習に臨むようになるため、効率的に学習できるようになります。

CALを活用して外科を志す医師を増やしていきたい

—— 今後CALを展開するうえでの目標についてお聞かせ願えますでしょうか？

鈴木：昨今、外科医を目指す医師が減っているので、CALがその問題を解決する手助けができるべきと考えています。たとえば現在、外科医になる場合は入局した時点での「呼吸器外科」や「心臓外科」のように専門領域を選ばなければなりませ

ん。そうなってしまうと、間口が狭まってしまい、外科の魅力が伝わらないのです。そうではなく、外科領域を総合的に学んだうえで、自分の専門領域を選べる環境を作っていけば、外科医の魅力が伝わり、外科を志す医師が増えるのではないかと考えています。

外科医を増やすためにも、さまざまな外科の先生達と相談して、CALとして協力していくべきだと思っています。例えば、複数の外科領域を学べる教育プログラムがあったら、面白いのではないかと夢想しています。

—— 外科領域が面白いと思ってもらえば、外科医を志す医師が増えるきっかけになりますよね。

鈴木：そうですね。それが結果的に患者さんのためにもなると思っています。外科医が不足する状況が続くと、医師は患者さんに対して余裕を持って接することが



できなくなります。そうなると、患者さんのためにもならない。このような悪循環を断ち切るためにも、CALを通じて外科医の魅力を広めることができたらと考えています。

CALを通じて患者さんに幸せをもたらす医師を育てる

—— 今後、献体を希望する方やそのご家族へのメッセージをお願いいたします。

鈴木：ご遺体を献体いただくことで、外科医不足によって生じる負のスパイラルに風穴を開けることができます。また、実際に患者さんの前に立つ医師が、優しい心を持ち、正しいことに自信を持って取り組めるようになります。ひいては、患者さんに幸せをもたらすことにつながります。ご遺体で学んだ医師が、今後お会いする患者さんを必ず笑顔にしてくれるとは信じています。ぜひ献体をご協力いただけますと幸いです。



取材を終えて

CSTならびに千葉大学CALに関する鈴木先生のお話、いかがでしたか。

当初は内容を1回にまとめる予定でしたが、鈴木先生の医学生ならびに卒後教育に関するわかりやすく、熱意あるお話をスタッフ一同大変感銘を受けました。より多くの方に現状を知っていただきたく、メリジャパンニュース史上初の前・後編インタビュー掲載に至った次第です。

当法人でのCSTサポートも来年で10年目を迎えます。CSTに関わる多くの先生方や献体希望者、また一般の方々からのご意見もいただきながら、患者さんを笑顔にしてくれる外科医が増えるお手伝いを続けてまいります。

いつもご支援
ありがとうございます!

// みなさまのご支援のおかげで、日本医療の質が向上しています。//

CST(サージカルトレーニング)の活動報告

ご報告

メリジャパンでは、2015年よりCSTの実施補助を行っております。

2020年はコロナ禍で開催が延期・中止されたCSTもありましたが、その後は徐々に開催されるようになり、

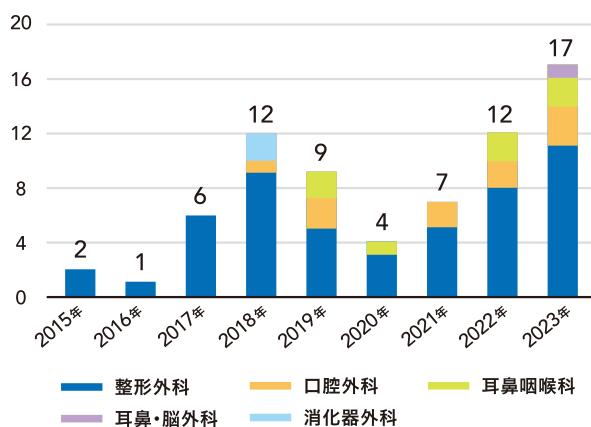
これまでの実施補助件数は70件、ご参加いただいた先生方・看護師さんの延べ人数は908名となりました。

実施補助内容としては、主に事務全般（参加申込、問い合わせ対応、各種印刷物の用意、消耗品・スタッフ手配、アンケート集計、会計補助等）、CST当日の受付や、搬入出、会場の清掃等を行っております。

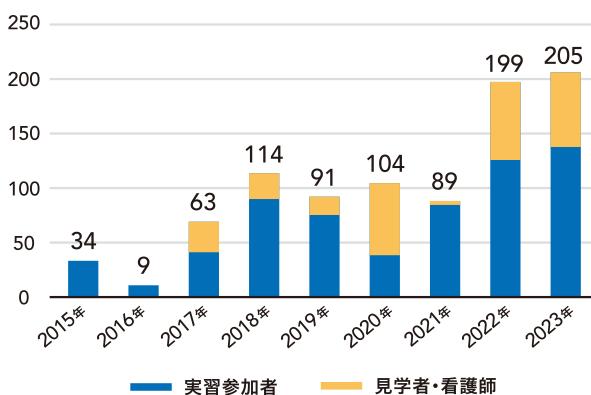
消耗品や着用品の手配のみ、事務作業の一部のサポートなどのご依頼も承っております。

これからも、先生方・看護師さんがよりよい環境で、集中してCSTを行えるよう、サポートしてまいります。

〈メリジャパン実施補助件数〉



〈参加延べ人数〉



医療を育てる活動の輪に、あなたもご参加ください

メリジャパンでは、多くの方々に高度な医療を安心して受けいただけるよう、医療技術向上のためのサージカルトレーニング（CST）の実施補助をしております。活動にご賛同いただける方からのご入会・ご寄付を受け付けておりますので、ぜひご協力ください。お問い合わせをお待ちしております。

会員のご案内

正会員

総会議決権を持つ会員です。
運営にも積極的に関わっていただきます。

個人会員 5,000円

法人会員 10,000円

賛助会員

総会の議決権はありません。
活動を支援してくださる方が対象です。

個人会員 3,000円

法人会員 5,000円

ご寄付について

活動を推進するためのご寄付を募っています。お預けした寄付金は、CSTに必要な消耗品等の購入・環境整備等に使われていただきます。ぜひご協力をお願いいたします。くわしくは、お電話またはメールにてご相談ください。

※当法人への寄付については、税額控除の対象にはなりませんのでご了承ください。



MERI Japan

特定非営利活動法人メリジャパン
〒464-0821名古屋市千種区末盛通2-4 はちや整形外科病院内

052-784-8775

meri_info@hachiya.or.jp

